

む す び

2019年度「ファッション文化科のあゆみ」第61号が、ここにまとまりました。

6月15日(土)本校桜朋館で第69回ファッションショー・学校見学会を行いました。「当たり前に戻ってくる未来をただ待つよりも、アクションを起こしてつくる新しい未来を自分たちの手で創造したい」という思いを「edit」のテーマに込め、約100点の和服やニット、洋服を発表しました。前日の公開リハーサルでは昨年に引き続き、普通科生徒全員が見学をしました。ファッションショー本番には、学校見学の中学生、県内外の高校生や教育関係者、保護者、本校生徒を含め、1300人を超える方にお越しいただき、たくさんの声援をいただきました。

キャリアプラン研修では様々な現場で、アパレル産業の現状を知り学習を深めました。1年生の7・8月には、上級学校の見学(名古屋学芸大学・名古屋外国語大学・各種専門学校)や10月にはハイブランドの縫製を担うモンナトリエの縫製工場とトヨタ産業技術記念館で、産業現場研修を行いました。2年生の10月には、今年度から変更された修学旅行先の岡山県児島で、クラス別研修を兼ね、本校の制服を製造する菅公学生服の縫製工場とジーンズミュージアムを見学しました。12月にはテキスタイルマテリアルセンター・葛利毛織工業株式会社・東和毛織株式会社の施設見学をしました。自己実現を見据え、自己の在り方や生き方、夢の実現について深く考えるきっかけとなる、充実した内容の研修を行うことができました。

今年度も、市立高校専門学科連携行事に取り組みました。工芸高校グラフィックアート科の生徒に、ファッションショー案内状・プログラムデザインに使用した写真の撮影をしていただきました。また8月には、栄のビジュアルアーツスタジオにて、ファッションフォト撮影会を行いました。3学期にはファッション文化科2年生を対象に、「DM デザインの基礎」という内容でグラフィックアート科の教員に特別講座をしていただきました。同じ市立高校の専門学科で学ぶ生徒同士、働く教員同士互いの専門性を刺激し合えるよい機会となりました。

昨年度に引き続き、今年度も2年生の生徒全員が夏休みに就業体験を行いました。ファッション関連企業で実際に働くことで、ファッションに関する知識・技術について学ぶことができるだけでなく、社会で必要な礼儀・作法やコミュニケーション能力の向上につながったと感じます。仕事の大変さを味わうとともに、やりがいを実感し、生徒自身がキャリアを考える良いきっかけとなりました。

毎年の恒例行事となった家庭クラブの奉仕活動である、南区に住むひとり暮らしの高齢者へ手作りのマフラーをプレゼントする活動、名古屋まつりをPRするためのナナちゃん人形の衣装製作と名古屋まつりの行列参加、「歩こう文化のみち」ファッションショーを行いました。自分たちが身に付けた技術が、様々な形で地域社会に貢献できることを知る良い機会として、後輩にも受け継いでいきたいです。

2・3年生の有志で、ウェルフェアファッションショーKANAYAMA コレクション2019にコーディネーターアドバイザーとして参加しました。夏季休業中に、コーディネーター検討会が行われ、モデルとして参加される高齢者の方と交流を行いました。11月24日(日)に行われたファッションショーでは、非常に多くの観客の方が来てくださり、大盛況でした。

3年生のコース科目では商品企画販売実践を行いました。サステイナブルな世の中が実現できるようアイデアを出し合って企画・製造した、アクセサリーやファッション小物などの商品をマルシェやインターネットを通じて販売しました。2年生からのコース選択による学習を深めつつ、リアルな流通現場を体験し、職業観を育てることができました。

第19回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会では、3年生2名が入選し、青森県で行われた本戦に出場しました。また、第40回ホームソーイング小・中・高校生作品コンクール小物インテリア部門の優秀賞をはじめ、12作品が受賞しました。第24回全国高校生クリエイティブコンテストでのFHJ賞や、第34回毎日・DAS高校生デザイン賞テキスタイルファッション部門での佳作など、コンテストにも積極的に挑戦し、大きな成果を収めることができました。

2019年5月1日に新天皇が即位され、平成から令和に元号が変わりました。希望に満ちあふれた新しい時代を迎えるにあたり、これまで培ってきた良き伝統や技術を継承するとともに、常に新しい視点を持ってアクションを起こし、グローバルに活躍できる生徒を育てるため、今後も努力していきたいと思っております。

